

若狭町 議会だより



未来をみつめる 子供達のために

野木小学校



東日本大震災被災地へ
救援物資の仕分け作業

もくじ

3月定例会

- 平成23年度の予算……………P2～P3
- 平成22年度の補正予算……………P4
- 常任委員会報告……………P5～P6
- 議員賛否一覧……………P6

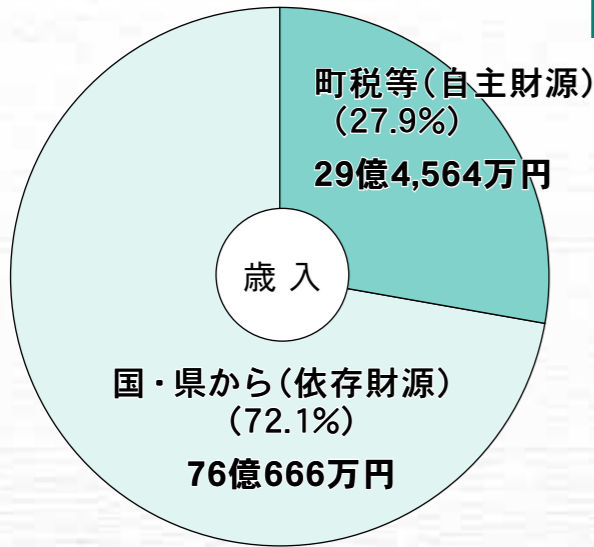
一般質問

7人がたずねました

- 議会の動き……………P7～P10
- 編集後記……………P10

平成23年度の予算 ワンポイント

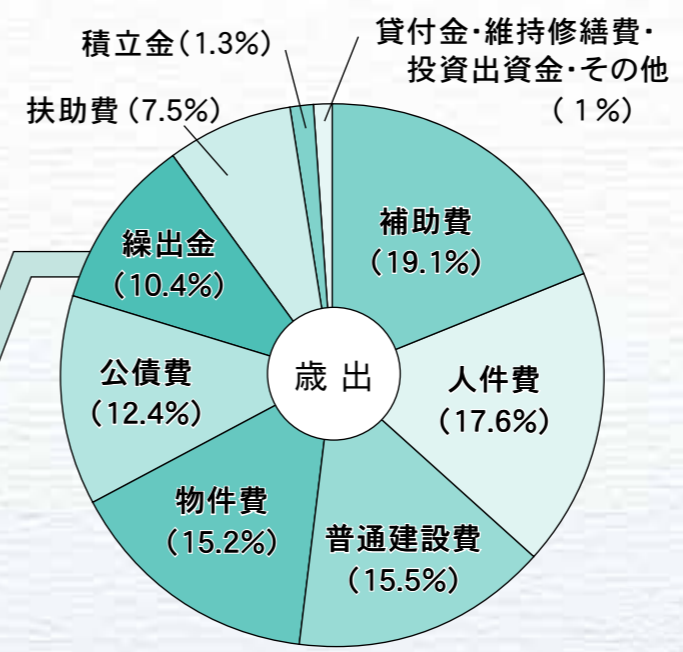
一般会計歳入歳出 105億5,230万円



公債費 町の借金を返すお金
13億1,289万円
 23年度末の見込残高(134億347万円)

扶助費 生活保護費、障害者支援など、社会保障関係にかかるお金
7億9,507万円
 子ども手当 3億1,659万円
 子ども医療費助成 5,009万円

物件費 業務委託や物品購入、光熱水費などにかかるお金
15億9,818万円
 原材料支給事業 870万円



補助費 一部事務組合や各種団体に支払うお金
20億1,447万円
 主に…
 消防へ
 ・若狭消防 1億9,395万円
 ・敦賀美方 2億 672万円
 病院へ
 ・小浜病院 1億4,212万円
 ・レイクヒルズ 1億2,604万円
 ・上中病院 9,500万円
 一般廃棄物処理費用 4億8,859万円

普通建設費 道路や公園、学校の建設や改修、用地の購入にかかるお金
16億3,184万円
 鳥獣処理加工施設建設 4億2,204万円
 防災拠点施設整備(若狭消防署上中分署) 2億2,910万円
 鳥獣害対策 9,970万円
 瓜生小学校学校施設リフレッシュ 9,533万円
 若狭三方縄文博物館施設リニューアル 4,680万円
 熊川宿観光駐車場整備 3,200万円

介護や健康保険
 なんかのお金は
 どこから出るの?



足りない分は
 どこから
 出てるの?

繰出金で、一般会計から各特別会計に出しているんだ。特別会計の中に、繰入金というのがあるでしょ？これがそうだよ。



国や県の予算や、加入者から入るんだ。

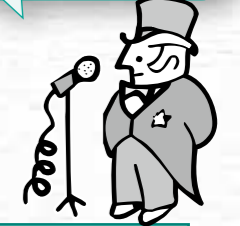
特別会計・企業会計

会計名	繰入金	年間予算	会計名	繰入金	年間予算
国民健康保険会計	5,111万円	18億1,679万円	公共下水道事業	4億 912万円	5億7,314万円
後期高齢者医療	4,509万円	1億6,948万円	漁業集落排水処理	1,836万円	3,661万円
直営診療所会計	329万円	910万円	町営住宅等	4,032万円	1億4,489万円
介護保険会計	2億4,011万円	15億1,520万円	土地開発事業	3,196万円	3,285万円
簡易水道会計	952万円	1億5,829万円	水道事業会計	1,412万円	2億2,944万円
農業者労働災害	0円	218万円	工業用水道事業	112万円	3,356万円
農業集落排水処理	2億4,837万円	3億9,985万円	上中病院事業	再掲9,500万円	7億7,719万円

ミスターさん、今年の予算は、なんだかとっても多いと思うんだけど。



去年より、12億7300万円増えたね。中がどうなっているか、一緒に覗いてみよう。



大変大変ミスターさん！建設費が去年の2倍以上、9億も増えてるわ！



まあまあ落ち着いて。嶺南の市町で取り組む鳥獣処理施設の建設費が、全額うちの町の予算として、一旦上げられるからだよ。他の町からもちゃんとお金はもらうけどね。あとは、上中地域の防災拠点施設の建設費があるね。



瓜生小学校は何を直すの？仕方がないと思うけれど、あんまり大きな出費は怖い気がするわ。



プールの水漏れを直すよ。借金もあんまり増えると大変だから、借りるお金の目安を作って、それ以上増えないように気をつけているそうだよ。



大丈夫ならいいけれど、将来子供達に負担をかけるようなことは嫌だわ。

ここ数年は、借金の残高が一番多くなるから、今まで借りていた率の高い借金を、出来るだけ率の低い借金に借り替えたり、先に返済したり、細かな計算をしながら乗り越えようとしているんだ。

平成22年度 一般会計補正予算

2月臨時会 会期 2月14日～2月17日 4日間

★「地域活性化・きめ細やかな臨時交付金」 1億6,993万円

主な事業

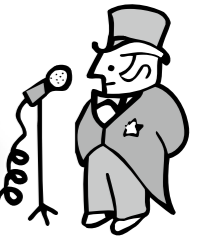
○庁舎等の修繕(空調設備)	6,348万円	○きららの湯施設修繕	200万円
○マイクロバス等購入	1,270万円	○観光パンフレット・ビデオの作成	450万円
○えびす荘修繕	950万円	○町道構造物修繕	2,800万円
○三方駅・十村駅・上中駅の修繕	863万円	○世久見漁港の修築	500万円
○三方庁舎太陽光発電設備	1,100万円	○野外運動広場等修繕	916万円
○三宅保育所修繕	160万円	○三方小・野木小耐震設計	1,436万円

★地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金

○基金積み立て	4,150万円
○図書館施設の修繕・備品購入	100万円

★除雪費の追加 6,100万円 総額 1億2,582万円

雪は水と消え、残ったのは言った言葉と言われた言葉だけ……と、あるおばあさんの弁。空しいお金ですが、必要不可欠ですなあ。



3月定例会 会期 3月7日～3月23日 17日間

主な増額事業

○減債基金積立金	1億円	○園芸産地総合支援事業	268万円
○有線情報連絡施設整備事業(チャンネル0デジタル化)	2,394万円	○有害鳥獣対策事業(捕獲駆除報償費)	1,161万円
○介護給付費事業	548万円	○土地改良事業	153万円
○出産祝い金支給事業	300万円	○村づくり交付金事業(公有財産購入費等の増)	394万円
○保育所総務管理事業	218万円	○県単道路改良工事負担金	130万円
○後期高齢者医療事業	578万円	○急傾斜地崩壊対策事業	125万円
○公立小浜病院組合負担金	1,758万円	○公民館総務事業(備品購入費)	160万円
○学校管理費	161万円		
○町債繰上償還	1億1,788万円		

★特別会計・企業会計補正 今回は主に、1年間の精算の為に補正を行いました。

会計名	補正後	会計名	補正後	会計名	補正後
国民健康保険会計	17億2,692万円	直営診療所	808万円	工業用水道事業	3億347万円
老人保健会計	440万円	介護保険会計	14億5,901万円	公共下水道事業	5億6,628万円
後期高齢者医療	1億7,631万円	農業集落排水処理	3億9,050万円	水道事業会計	2億1,391万円
				上中病院事業	7億8,695万円

予算決算常任委員会

問 今回の東北太平洋沖地震の被害状況から、庁舎内におけるコンピュータのバックアップ機能や経費面から考えて、広域的な取組みの検討が必要ではないか。

答 検討していく必要があると思う。

問 敦賀3、4号機増設の交付金はどれだけ、今後どうなるか。

答 平成33年度までに22億1,580万円であるが、福島発電所の事故により変わることもあるかもしれない。

問 これまでは美浜発電所から10キロ圏内で避難訓練を行っているが、今回の事故では20キロが避難対象となっており、町としても強く申し入れてほしい。

答 住民の安全・安心を考えてやっていく。政策推進課の事業は予算的には多くはないが、たくさん事業をやっているのか。課員に負担がかかり過ぎる。ほとんど公民館が絡んでおり、調整や連携はどうなっているのか。

問 課では1名増員を考えている。行政でプランを立て民間で出来るものと分けしていく。どれだけ出来るかわからないが、窓口を開くということでご理解をいただきたい。

答 県の滞納整理機構へ職員1名を派遣しているが、その効果はどうか。

問 町の滞納回収率は83・3%であり、成果は上がっている。

答 若狭ブランド確立事業については、なぜ今あるものを売らないのか。その上でブランド化を考

問 えっていくべき。商業者はプロとして常口頃から頑張っているのになぜ応援しないのか。

答 消費者ニーズの把握や今一生懸命やっておられる方も念頭において、今後検討していく。

問 公共下水道事業は、将来的に熊川と三宅を統合すれば維持費が安くなるのでは。

答 統合すれば安くなるが、つなぐ管の口径に問題があることや、処理場の耐用年数の関係で補助金返還の必要性が出てくる。

問 国際交流協会の活動は町内在住の外国人の方が増えてきており、交流を含め、援助や支援を考えていないか。

答 国際交流協会の事務局は教育委員会にあり、今後町内の状況を把握して検討したい。

問 保育所の給食材料の仕入れは、町内業者の利用が少ない。県外の業者を利用している理由は、今後はなるべく町内業者を利用する。

答 図書館の予算でパレオ館と三方館の経費の差は何か。

問 人件費はパレオ館で全員の分を計上している。イベントに対する経費が多すぎる。もっと予算の配分を考えてほしい。若狭は、検討委員会で論議を尽くした結果であり、今後は実行委員会で検討を加えてほしい。町の一本化を図ることや町外からの誘客を目的にしているのならば、やるからには目玉をきちんと出してほしい。祭りは予算を精査し進める。

問 住宅リフォーム応援事業では、町内業者に限りとなっているが、商工会や組合に入っていない業者もいる。政策推進課で担当することになったのはなぜか。単年度ではなくて継続してや

総務産業建設常任委員会

問 若狭町温泉施設きららの湯の保全、修繕、改修にあたる基金条例の制定について

答 指定管理者との覚書の中で、双方の負担部分を明記すべきだ

問 締結時に主たる事例をあげると共に他の指定管理施設も含めて一元化を図りたい。

答 原子力発電施設等立地地域の指定による町税の特例は、10カ年の期限延長をされることだが今年度に申請があった者からか。

問 22年度に申請された会社も申請された翌年の4月1日より3カ年適用となる。

一般質問

○若狭町遊覧船施設（レイクルーズ・待合所・棧橋）の財産処分と条例廃止について
 導入当時の出資状況はどうか。

答 海山漁協と町が起債を借りて整備した。10年後に当漁協に譲渡する契約となっている。

○財産処分について

- 須恵野創作館
- 上中農村婦人の家（井ノ口）
- 多目的研修施設天徳寺会館
- 自然休養村梅ヶ原経営管理所
- 関区の集落センター

問 関区の譲渡は、なぜ土地だけなのか。

答 建物は集落所有で、今回は敷地のみである。

○若狭町新規就業支援施設の指定管理者の指定について

問 南地係にある農産物直売所も同じか。

答 今回の指定管理は関係していない。兼田の直売所、加工場、宿舍の管理を若狭町物産協会に指定するもの。

○請願

PPPの参加に反対する請願について、関税撤廃は特に米・麦等農産物の生産に影響が大きく、強いては国民生活の困窮を招くとの懸念から提出されました（12月継続）が今議会も慎重審議の結果、継続審査と決定。内容的には多くは主旨を理解しながらも、特に今回の東日本の大震災による惨状と混乱は政府自体が一考せざるを得なくなる流動的事態、また農業者のみの観点でなく幅広い視点から今一度、慎重を期した次第です。



清水 利一 議員

感染症予防接種事業導入について どう対応するのか

町長

予防接種法で任意予防接種と位置づけられている現状に則り対応していく

清水 健康診断による特定検診とがん検診事業の受診率の現状と課題は。

町長 今のところ、特定検診は約40%で、がん検診は約22・6%です。

健康課長 未受診者への対応は、個別検診等も実施できるよう推進と調整も図っていきます。

清水 乳幼児予防接種事業を含む新分野の感染性予防事業導入の対応は。

町長 小児用肺炎球菌とヒブの両ワクチンは課題があるため、当面見合わせの周知徹底を図っているところで、国の決定

●平成23年第1回臨時会議案審査の主たるもの
 ○若狭町住民生活に光を注ぐ基金条例の制定について
 国の緊急経済対策の交付金として賦与され、そのまま基金として預託、23年・24年度で主旨に沿った事業を実施するとの説明。
 問 具体的にどういう事業なのか。
 答 ニート・定住促進・保育所の気がかりな子・不登校・図書館・一行詩等に適用したい。経済対策なので出来る限り地元利用を要請した。

教育厚生常任委員会

○若狭町地域福祉推進拠点施設（五湖の郷）条例の一部が改正されました。

これは地域密着型認知症対応型共同生活介護の開設、並びに障害者共同生活介護及び障害者短期入所施設の利用定員等を変更するための条例の一部改正です。

問 障害者のショートステイは2床だけになるが、大丈夫なのか。
 答 問題はないと考えている。

問 建設時の計画はどうだったのか。
 答 建設当時、障害者の保護者への照会等をして部屋数等を決定したが、色々な事情があり利用申し出が少なかった。

問 今回の変更により、介護保険も対象になってくのか。
 答 介護保険の対象となり介護保険料も増加するが、介護保険料は平成23年度に見直しを行う。



小堀 信昭 議員

今後の町づくりを伺う

町長

現在町づくりプランの策定中であり
 自助・共助・公助を展開していきたい

小堀 町内間電話で未だに市外局番が必要である。町内一本化対応を伺う。

町長 施設整備に多くの費用、又両地域の加入者の同意も必要で、有線電話通信網にした。

小堀 有線の加入率、初期投資は。

町長 三方地域世帯数に対して58%、上中地域投資は3億4212万円。80%。

公民館活動について

小堀 三方地域の公民館活動が住民に理解されていない。どう捉えているか。

町長 生涯学習の拠点として、幅広い年代に学習機会を提供する目的としている。自助・共助・公助の役割を認識し、情報を把握、共用して課題の解決を図る拠点施設として必要と考えている。

小堀 三方地域の公民館は全て共用である。みそみ公民館は老朽化が激しい。西田地区では西浦地区と生活形態が全く違い、三方地区では三校下が一緒である。今後の公民館活動の拠点づくりは。

町長 改善すべき点は改善し、地域の特色、地域に合った公民館にし、

ご意見を伺いながら施設環境の向上に努めたい。

小堀 今後の保育所、学校、病院の統合について、今すぐではないが長期展望を伺う。

町長 町づくりプランの戦略目標「次世代の定住促進」「住民自治の推進」を掲げており、期中は再編・統合は考えていない。



みそみ公民館

○若狭町児童館条例の一部が改正されました。
 これは瓜生児童館の老朽化により、建物を撤去することに伴う条例の一部改正です。

議員賛否一覧

議員名	採決月日	霜中茂実	藤本佳司	柘原直仁	北原武道	松岡喜一	福谷洋	藤田美穂	武田敏孝	小堀友廣	清水利一	藤本勲	大塚季由	中島正昭	小堀信昭	小林和弘	松本孝雄	増井九右衛門	中村正彦	
議案等名																				
平成23年度若狭町一般会計予算	3/23	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-
平成23年度若狭町農業者労働災害共済事業特別会計予算	3/23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	-

これ以外の議案は、全員賛成で可決しました。議長は採決に加わりません。 ○賛成 ×反対



藤本 佳司 議員

三方五湖の放水トンネルは

町長

県への重要要望事項に位置付け取り組む
地元住民の熱意も重要

藤本 学識者による生態系等の調査結果が公表されたが、国の事業採択における県の対応はどこまで進んでいるのか。

また、町として国・県に対し、早期実現を目指す事業推進をどの様に働きかけていくのか。

町長 県では平成16年から嶺南地方流域検討会を設置し審議を積み重ね、昨年2月に住民説明会を開催し「早瀬川水系河川整備計画」の原案が示されている。

事業実施の前提となる河川環境計画の策定に向け、国土交通省と協議を行っている。

町では、トンネル放水路の整備を県への重点要望事項に位置付け、一日

でも早く事業着手をと、要望活動している。これには地元熱意も重要である。

藤本 町にとっては、三方五湖はラムサール条約にも登録されている大きな財産でもある。地元はもとより町全体としての熱意が必要になるのかと思う。町として、熱意を高める具体的な方策は考えておられるのか。

町長 要望活動は、行政と住民との一体的な行動が重要。推進母体となる建設期成同盟会の設立に向け、相談させて頂きたい。



計画場所



藤本 勲 議員

災害時に集落全戸が車のライトをつける運動と機械類の申告台帳の作成を！

町長

危機管理体制の強化から
是非進めていきたい

藤本 災害が発生すればパニック状態に陥る。夜間では恐怖感が増し、暗闇の中の作業は容易ではない。集落全戸が車のライトをつける運動は出来ないか。

又、ウインチ、発電機、リフト、大型ジャッキなど災害時に利用できる機械類の申告をしてもらい、集落がその台帳を作成しておく事はいかがか。

町長 地域防災力を高める上で、このような取り組みを前向きに進めて行きたい。

災害時要援護者支援台帳の登録状況は

藤本 登録台帳は、災害時に支援を必要とする

高齢者、障害者等の方々と、支援をして頂ける地域支援者を台帳に登録する制度だが、支援をして頂ける人が、集まらないと聞か、支援を必要とする対象者は何人いるのか。

要援護者、支援者がセットされ個別計画が出来たのは何件あるのか。併せて制度の普及対策を伺う。

町長 要支援者が2、455名、個別計画が出来、機能が発揮できる体制が取れたのは291名である。制度の普及については、区長・民生児童委員さらには町職員で、制度の趣旨を踏まえて、支援者の獲得に取り組みたい。

町長 要支援者が2、455名、個別計画が出来、機能が発揮できる体制が取れたのは291名である。制度の普及については、区長・民生児童委員さらには町職員で、制度の趣旨を踏まえて、支援者の獲得に取り組みたい。



被災地の様子

ハザードマップの活用状況は

藤本 集落センターに貼り付けただけという感じがある。

町長 ハザードマップを作成し、危険箇所を知って頂く作業が終了した。今後は地域の自主的活動を望みたい。

一般質問

(文責：質問者本人)



増井 九右衛門 議員

企業誘致体制は十分に 企業誘致室の設置の考えは

町長

兼務職員で企業誘致体制を考えたいが
独立室は考えていない

増井 企業誘致は町のトップが一生懸命汗をかかないと相手に伝わらない。嶺南他市町の誘致状況と誘致体制はどうか。

町長 敦賀市21年度3件、美浜町、小浜、高浜は22年度各1件。体制は敦賀市は企業誘致室、美浜町は企業誘致・雇用対策室、小浜市は企業誘致雇用・促進グループ、おおい町は商業観光振興課、高浜町はまちづくり課で対応している。

増井 現在企業誘致用の土地は何処にどれだけ所有しているか。

町長 三十三産業団地に19、200㎡、ナイガイ跡地に3,800㎡、麻生野に38,000㎡所有。

増井 三十三団地はこの用途に制約あるようだがどのような企業でも立地出来るよう用途変更すべき、また麻生野は舞若道完成までに流通センター的なものを誘致すべき。

町長 三十三団地は国県の補助事業で造成。現状では工場誘致の場として。麻生野は物流企業誘致に取り組みたい。

町有地の現状と 借地の状況は

増井

働くところが無いとUターンや定住促進事業も難しい。積極的な対応を。次に町遊休地面積は。また管理費は。

総務課長 町有地は48.9畝。河内の山林、中核工業団地の法面除き利用

されていない遊休土地は6.4畝。管理費は年間20万円程度。

増井 借地の面積と借地料は。

総務課長 借地5.3畝借地料820万円。

増井 借地所有者の意向もあり困難なこともあるが、交換を交渉し経費節減を図るべき。交換可能なものを除き売却し合併時財調・減債基金15億円余あったものが21年度末8億9千600万円と大幅に減った基金に積み立てる考えは。

総務課長 土地所有者の意向を確認し、進められれば進めたい。町有地についてもあらゆる面から有効活用を図りたい。



北原 武道 議員

「住宅リフォーム応援事業」の目的は？

町長

地元経済の活性化である

北原 住宅リフォーム助成制度は、個人の財産形成と言ふより、自治体の経済対策を主目的とすべきである。提案された「住宅リフォーム応援事業」の性格はそうなっているか。

町長 町内の住宅新築は、平成15年を境に半減している。大工や左官など職人も減っていると聞く。平成22年8月には地元の建築組合から、仕事確保の要望書を受け取っている。地元経済の活性化を主目的として「住宅リフォーム応援事業」を提案した。20万円以上の住宅改修を町内業者で実施した場合、10万円を限度として、経費の3分の1を助成する。畳の表替え、クロス張り替え、襖の修繕なども対象である。詳しくは、これから要項を作る。広くどなたでも、気軽に活用できる制度にしたい。

北原 助成金の一定割合を商品券などの地域貨幣で支給してはどうか。商店が活性化し、この制度の経済効果がより高まる。

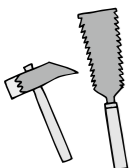
町長 いろいろな問題、

北原 広くどなたでも、活用できる制度にしたい。

北原 広くどなたでも、活用できる制度にしたい。

政策推進課長 現時点の考えで答える。パンフレットを全戸配布する。この事業に賛同いただける地元の業者や職人も掲載して紹介する。行政チャンネル、「広報わかさ」、若狭町ホームページでも知らせる。申請方法については、業者や職人による代理申請も検討していきたい。

北原 20万円の工事をする経済的余裕のない人もいる。町の景気がよくなり税収が増えたら、その分、社会保障の充実に当てるよう要望する。





中島 正昭 議員

若者の定住促進を図るための 具体的施策は

町長

次世代定住促進協議会(仮称)を
立ち上げ積極的に進める

中島 まちづくり総合計
画では将来の人口目標は設
定しないのか。老年人口と
いわれる65歳以上でも元氣
な方々には活躍してもらっ
たことを考えるべきと思うが
どのような支援策を考えて
いるのか。

中島 「原材料支給事業」
や「農地・水・環境保全向
上対策事業」などの取り組
み活動についての発表や優
良事例の表彰を行い各集落
づくり活動の参考にできな
いか。

中島 ツーデーマーチや
若狭町まつりなどのイベン
ト開催のねらい、目的は何
なのか。昨年の若狭町祭り
の内容では、町の独自性ア
ピールに欠け、物足りない
感じがした。

イベント開催のねらいは

町長 まちづくり講座や
まちづくりシンポジウムで
発表したほか、広報わかさ
でも特集した。CATVで
も広報するよう要請してい
る。今後も集落役員や地域
づくりの実践者などを対象
にしたまちづくり講座での
発表を予定しており、あら
ゆる機会を通して発表の場
を設けたい。表彰制度につ
いては、今のところ考え
ていない。

町長 経済効果による地
域活性化、住民の融和と絆
を深めもてなしの心を育む
人づくり、交流人口の拡大、
観光振興につながるリピー
ター客の増大、若狭町をP
Rできる場づくりと大きく
は五つの目的を持つ。

課長 検討会から報告書
が提出され、今後、歴史や
文化など町をPRする観光
イベントとして開催するま
ちづくりを目指す。

議会の動き

2月4日 美浜・三方環境衛生組合議会

嶺南市町議会議長会要望活動

7日～8日 議員研修及び中央要望活動

10日 議会運営委員会

14日 議会全員協議会

15日 予算決算常任委員会

17日 議会臨時会(閉会)

23日 若狭消防組合議会

23日 小浜市・若狭町・高島市総合振興
協議会研修

25日 福井県町村議会議長会定期総会

28日 議会運営委員会

3月1日 議会全員協議会

2日 議会全員協議会

7日 議会本会議(開会)

8日 公立小浜病院組合議会

14日 議会本会議(一般質問)

15日 総務産業建設常任委員会

16日 教育厚生常任委員会

17日 予算決算常任委員会

22日 常任委員長会

23日 議会本会議(閉会) 広報特別委員会

28日 若狭消防組合議会

29日 後期高齢者医療広域連合議会

30日 公立小浜病院組合議会

4月11日 嶺南広域行政組合議会

敦賀美方消防組合議会

広報特別委員会

編集後記

3月11日午後、太平洋側の東日本各地を大津波が襲いました。

ホームコたつに足をつっこみながらテレビを見ていた私は、以前の職業柄(消防職員)、家や車が押し流される場面に大きないらだちを覚え、自分の無力さをこれ程感じた事ありませんでした。

想定外の大地震であったと連日報道がされていますが、政治の社会でも、経済界においても想定外という言葉が使われずぎると思っています。

想定外を想定しなければ危機管理体制が成り立つものではないと考えています。議会では更に行政と手を携え懸命に防災計画の練り直しに努力してまいります。

復興に国民が少しでも力になつて協力しなくてはなりません。若狭町民の皆様のご支援をお願い致します。

尚、義援金、支援物資にご協力を頂いております事に心より感謝申し上げます。

(柘原記)

【広報編集委員会】

- 委員長 藤田 美穂
- 副委員長 霜中 茂実
- 委員 柘原 直仁
- 〃 松岡 喜一
- 〃 福谷 洋
- 〃 小堀 信昭